

## リスクとリターンを体験してみよう！ —意思決定の重みを実感できるか—

(総授業時数：4時間)

### 実施学年、教科等

第1～3学年 公民科「現代社会」

### 単元の目標

- (1) 金融商品には、利益が出たり損失が出たりする特徴を踏まえて、リスクとリターンの関係について関心を持ち、自分のこととして考えることができるようにする。
- (2) 金融が経済主体間の資金の融通であることを理解し、銀行など金融機関の役割を理解することができるようにする。
- (3) 「信用」が経済において重要な考え方の1つになっていることに気付き、「信用」という観点から金融のあり方について理解することができるようにする。

### 学習の評価

- (1) リスクの高い金融商品を選んだからといって、必ずしも高いリターンが得られるわけではないことなど、リスクとリターンの関係について、興味や関心を持ち、自分自身のことに置き換えて考えている。  
(授業での発言・レポート)
- (2) 金融が経済主体間の資金の融通であることを理解し、銀行など金融機関の役割を理解している。  
(ノート・ワークシート)
- (3) 「信用」が経済において重要な考え方の1つになっていることに気付き、「信用」という観点から金融のあり方について理解している。  
(レポート・ワークシート)

### 展開の特色

- (1) サイコロゲームやグループワーク、ディスカッションなどの手法を取り入れることで、生徒の主体的な学びを通して理解が深められるように工夫している。
- (2) 短期的な視点ではなく、中長期的な視野を育むように意識させる教材を目指している。
- (3) 「選択」と「信用」という観点から、経済を体感できるような教材を目指している。

### 「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

\*記号については、P.32～45を参照。

Aーア・イ、Bーア・イ

### 学習内容のキーワード

金融、信用、金融商品、貯蓄、投資、意思決定、リスク、リターン、ゲーム、出来事、中長期



本時の目標

- ア：金融商品には利益が出たり損失が出たりする特徴を踏まえて、リスクとリターンについて関心を持ち、自分のこととして考えることができるようにする。
- イ：投資のためには貯蓄が必要になることや、また少額であっても定期的に貯蓄・運用し続けることが将来の備えとして有益であることを理解することができるようにする。
- ウ：リスクが高い金融商品が、必ずしもリターンが高いものではないということを理解することができるようにする。

●本時の展開

	学習内容	●学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他
導入	・もし今、手元に100万円あったら何に使うかを考える。	●生徒の考えを発表させながら、100万円の使用方法が「消費」や「貯蓄」、「投資」などに分類されることを確認する。	◆「消費」や「貯蓄」以外に「投資」という選択肢があることを理解する。 ◆金融市場、証券市場などの働きと機能を理解する。	★消費や投資のためには貯蓄が必要であることについて気付かせる。	
展開①	・リスクとリターンにはどのような関係があるかを考える。	●金融商品には、利益が出たり損失が出たりするものがあることを理解する。 ●リスクの高い金融商品が、必ずしもリターンが高くなるものではないということを理解する。	◆金融商品について、利益が出たり損失が出たりする特徴があることを理解する。	★資料を使いながらリスクとリターンの関係について整理する。	
展開②	・リスクとリターンの関係を体験する。	<p>アクティビティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アクティビティを行いながら、貯蓄を行うか、投資を行うかの意思決定をする。</li> <li>●このゲームでは、投資の場合、サイコロの出た目によってリターン(利益)が異なるだけでなく、「出来事カード」を引くことによって、サイコロの目とリターンの組み合わせによって表されるリスクが変化することに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆資金運用については、自己責任のもとで金融商品を選択する必要があることを理解する。</li> <li>◆様々な金融商品に資金を分散するなどのリスク管理の方法について理解する。</li> <li>◆金融商品については、目先の価格の動きに目を奪われず、長期的な視点から運用を考える必要があることを理解する。</li> <li>◆どの程度のリスクをとることができるかは人によって異なることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★1回目の投資の結果をみる際に、ワークシートの説明を丁寧に行うようにする。</li> <li>★途中で各グループにその時点での資産がいくらかになっているか、どのような考えで貯蓄や投資をしているかなどを発表させるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビティは1人でも実施可能であるが、2～3名程度のチームにし、相談しながら意思決定をさせることが望ましい。</li> <li>・ワークシート</li> <li>・出来事カード</li> <li>・家庭科で学ぶ生活設計の内容と関連付けて考えさせるようにする。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクとリターンの関係について整理する。</li> <li>・戦後日本経済の歩みを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アクティビティの結果を通して、リスクが高い金融商品(投資)が、必ずしもリターンを生むわけではないことを理解する。</li> <li>●投資を行うためには貯蓄が必要になることを理解する。</li> <li>●私たちが生活している経済社会には、リターンが高く得られるようなプラスの出来事が起きる可能性と、リターンがそれほど望めない、または元本が減少するようなマイナスの出来事が起こる可能性の両方があることに気付く。それぞれの可能性に対して適切な行動をとる大切さを理解する。</li> <li>●戦後日本経済の歩みをアクティビティで扱った出来事を通して確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆リスクが高い金融商品が、必ずしもリターンが高いものではないことを理解する。</li> <li>◆長期的・計画的な資金管理の大切さを理解する。</li> <li>◆定期的に貯蓄・運用し続けることが将来の備えとして有益であることを理解する。</li> </ul>	★本日の授業で感じたことをレポートさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートは宿題にしてもよい。</li> </ul>

1 金融教育のねらいと基本的性格  
2 金融教育の目標と方法  
3 金融教育を支援する関係機関等の活動  
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて  
5 小学校における金融教育  
6 中学校における金融教育  
7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格  
2 金融教育の目標と方法  
3 金融教育を支援する関係機関等の活動  
4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて  
5 小学校における金融教育  
6 中学校における金融教育  
7 高等学校における金融教育

●教材・資料等 (本時の授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

1

リスクとリターンを体験してみよう!

**貯蓄・投資  
ゲーム**

5

**貯蓄・投資ゲーム 「20歳」**

「」と「」が出たら元本は1/2。つまり投資した分の半分が戻ってきます。「」と「」が出たら元本はそのまま、「」、「」が出たら元本は1.5倍になります。

仮に「6」が出たとしたら、戻ってくる額は投資した元本の1.5倍なので…

2

**ゲームのやり方**

これから、20歳、25歳、30歳、40歳、50歳、55歳、60歳、定年時と8回にわたり、預金をするか投資をするかを選択してもらいます。投資の場合、サイコロを振ってもらい、その出た目によって元本がどうなるかが決定します。

6

**「貯蓄・投資ゲーム」ワークシート記入例**

	20歳	25歳	30歳	40歳	50歳	55歳	60歳	定年時
給与	300万	350万	400万	500万	600万	700万	600万	2000万
生活費	280万	300万	400万	450万	500万	500万	400万	
残り	20万	50万	0万	50万	100万	200万	200万	
預金額	0							
投資額	20							
結果	30							
資産	30							

このようになります。また次のターンでは資産に書かれている金額が使えることになります

3

例えば…

20歳の時に20万円を投資したとします。

7

**「貯蓄・投資ゲーム」ワークシート記入例**

	20歳	25歳	30歳	40歳	50歳	55歳	60歳	定年時
給与	300万	350万	400万	500万	600万	700万	600万	2000万
生活費	280万	300万	400万	450万	500万	500万	400万	
残り	20万	50万	0万	50万	100万	200万	200万	
預金額	10							
投資額	10							
結果	15							
資産	25							

仮に10万円貯金し、10万円を投資した場合は、10万円の1.5倍で15万円。資産は預金額の10万円に15万が足され25万になります。つまり次のターンでは25万円使えることになります。

4

**「貯蓄・投資ゲーム」ワークシート記入例**

	20歳	25歳	30歳	40歳	50歳	55歳	60歳	定年時
給与	300万	350万	400万	500万	600万	700万	600万	2000万
生活費	280万	300万	400万	450万	500万	500万	400万	
残り	20万	50万	0万	50万	100万	200万	200万	
預金額	0							
投資額	20							
結果								
資産								

このように書いてください

8

では、やってみましょう!  
まずは20歳から

20万円を預金と投資にどのように使うかを考えてください

(出た目による元本の増減は、スライドNo.5のとおり)

9

次は25歳です

20歳の時と同様に、資産のお金を預金と投資にどのように使うかを考えてください

13

「出来事7」

**ドル紙幣と金の兌換を一時停止。為替大混乱。**

10

次は30歳です

資産のお金を預金と投資にどのように使うかを考えてください

ただしこの先は参加者の方に出来事カードを引いてもらうことにします。その出来事カードに書かれている内容で投資した元本の行方が変わっています。もちろん全額貯金もOKです。

14

貯蓄・投資ゲーム 「出来事7」

「」、「」が出たら元本は0。  
「」、「」が出たら元本は1/2倍。  
「」が出たら元本はそのまま。  
「」が出たら元本は2倍。

11

「出来事1」

**新興国で高成長。**

15

プラスの出来事について

1…新興国で高成長  
2…電化製品の売れ行き最高 **高度経済成長期**  
3…株価、土地上昇 **バブル経済**  
4…ITバブル **ITバブル**  
5…大胆な金融政策 **アベノミクス**

12

貯蓄・投資ゲーム 「出来事1」

「」が出たら元本は1/2。  
「」が出たら元本はそのまま。  
「」、「」が出たら元本は2倍。  
「」、「」が出たら元本は3倍。

16

マイナスの出来事について

6…超均衡予算 **ドッジライン**  
7…為替大混乱 **ニクソンショック**  
8…資源国で紛争 **オイルショック**  
9…急激な円高 **プラザ合意**  
10…世界金融危機 **リーマンショック**

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

資料

17

次は40歳→50歳→55歳→60歳です

資産のお金を預金と投資にどのように使うかを考えてください

21

まとめ2

- ・リスクとリターンは、総じて比例的である。「低いリスクー低いリターン」「高いリスクー高いリターン」)
- ・高いリターンを得ようとする、リスクも高まる(ハイリスク・ハイリターン)
- ・リスクを低く抑えようとする、リターンも低下する(ローリスク・ローリターン)
- ・「リスクを高めれば、必ずリターンが高まる」わけではない
- ・「リスクなく、高いリターンを得られる」ことはない

18

最後は定年時です。

あなたは退職金を2000万円もらいました。資産のお金を預金と投資にどのように使うかを考えてください。

22

リスクとリターンの関係のイメージ図



19

いかがだったでしょうか？

ちなみに毎回すべての額を貯金した場合は、2620万円になります。

投資をしてプラスになった方、マイナスになった方がいると思います。

23

まとめ3

- 1 ローリスクローリターンの金融商品とハイリスクハイリターンの金融商品があるが、ノーリスクハイリターンの金融商品はない。
- 2 投資を行うためには貯蓄が必要になる。
- 3 将来様々な出来事が起こる可能性に備えることが大切。

20

まとめ1

高いリターンを追求すればリスクが高まる。リスクを低く抑えようとする、リターンも低下する。金融商品の性質としていえば、「安全性」と「収益性」は両立しない。

24

(レポート)

貯蓄・投資ゲームを通して分かったことを記入しよう。

1. リスクとリターンの関係

2. 資金管理で大切なこと